

プレスリリース

The Museum of Modern Art, Saitama  
Tōyama Memorial Museum

# 竹岡雄二 台座から空間へ

YUJI TAKEOKA: FROM A PEDESTAL INTO SPACE

2016年7月9日(土)～9月4日(日)

埼玉県立近代美術館  
遠山記念館

作品を「つくること」ではなく、「見せること」に視点を置くならば、果たして芸術はどのように浮かび上がってくるのでしょうか。この問いをめぐって制作を続けてきたのが、国際的な舞台で活躍するドイツ在住の美術家、竹岡雄二です。

彫刻を学んだ竹岡は、作品を「見せる」際に必要となる台座の存在に注目し、台座そのものをモチーフとする制作に着手します。厳選された素材、形、色彩によって制作された台座は、私たちの視線を誘いこむ彫刻的な姿をまとった作品としてあらわれます。その後、ガラスケース、ショーケース、棚など、陳列するための仕組みをモチーフとした作品に加え、陳列のための空間に眼を向けた制作を手掛けていきます。こうして「見せること」を探るために台座から始まった問いかけは、展示される空間・場所・環境へと広がっていきます。

このたび、埼玉県立近代美術館と遠山記念館は、竹岡雄二の芸術を大規模に紹介する展覧会を同時開催いたします。埼玉県立近代美術館では、約30年間のドイツでの活動を20点あまりの代表作で振り返ります。遠山記念館では、文化財として知られる遠山邸(1936年竣工)の和風建築を舞台に、6点の作品を展示します。さらに「見せる」という観点から、竹岡が独自のコンセプトで遠山記念館所蔵の伝統的な美術品を選び、埼玉県立近代美術館において展示を行います。これまでの活動を回顧するだけでなく、作者が新たな試みに挑む展覧会です。

## ■作家略歴

### ◇竹岡 雄二 YUJI TAKEOKA

- 1946年 京都に生まれる／現在、デュッセルドルフに在住。  
1969-1972年 京都市立芸術大学美術学部彫刻科に学ぶ  
1972年 デュッセルドルフ国立美術大学に留学（日本政府国費留学生）  
1973-1979年 デュッセルドルフ国立美術大学に学ぶ  
1995-2013年 ブレーメン芸術大学教授をつとめる

## ■みどころ

1. ドイツ在住の日本人芸術家の作品を、2館同時開催により大規模に紹介。
2. 彫刻を置く台である「台座」を作品の地位に引き上げた「台座彫刻」。
3. ものを「見せる仕組み」をモチーフとした作品から、「見せるための空間」への展開。
4. 埼玉県立近代美術館では、30年におよぶ活動を20点あまりの代表作で紹介。
  - ・今年1-3月に開催された国立国際美術館における展示には出品されていない作品も含まれます。
  - ・ドイツでも展示される機会の少ないドローイング17点（予定）が特別出品されます。
5. 文化財として知られる遠山邸（1936年竣工）の和風建築を舞台とする6点の展示。
6. 「見せる」という観点から作家が選んだ遠山記念館所蔵の伝統的な美術品を、埼玉県立近代美術館に展示。

## ■関連イベント

### ◇アーティスト・トーク「竹岡雄二氏に聞く」 聞き手:建島哲（埼玉県立近代美術館館長）

7月9日（土）15時～16時30分（開場は30分前）

埼玉県立近代美術館・2F講堂／定員:100名（当日先着順）／無料

- ・ 展覧会の幕開けにあわせて、作家が自身の芸術について語ります。

### ◎アーティスト・トーク「台座から空間へ」

7月10日（日）13時30分～14時30分 遠山記念館・邸宅／観覧料が必要です

- ・ 竹岡雄二氏と共に、遠山邸を歩くイベントです。実際に作品と空間を見ながら、今回の展示についてお話しいただきます。

### ◇担当学芸員によるギャラリー・トーク

7月30日（土）15時～16時 埼玉県立近代美術館・2F展示室／企画展観覧料が必要です。

### ◇キュレーターズ・トーク、ノーカット版

8月21日（日）13時～16時30分（開場は30分前／出入自由・休憩有）

埼玉県立近代美術館・2F講堂／定員:100名（当日先着順）／無料

- ・ 竹岡雄二の作品を「見ること」について、担当学芸員の平野到と梅津元が、時間を気にせず語ります。

## □見どころ案内

ご希望のグループに「竹岡雄二 台座から空間へ」の見どころをご案内します（予約制）。

問合せ・予約：tel. 048-824-0110（埼玉県立近代美術館/教育・広報担当）

## ■割引のご案内

### タケオカ割

埼玉県立近代美術館と遠山記念館の「竹岡雄二」展を両方観覧すると、2会場目の観覧料が2割引になります。

2会場目の観覧券購入の際に、1会場目の半券をご提示ください。（各館内では他の割引と併用できません。）

### 埼玉県立近代美術館限定の夏割

夏休みのお子様連れや、大高生のグループでの観覧を応援します！埼玉県立近代美術館で①中学生以下1名以上を含むグループ、もしくは②大高生2名以上を含むグループで観覧の場合、グループ全員の「竹岡雄二」展の観覧料が2割引になります。※観覧券はグループ全員がそろった上で購入ください。

注：埼玉県立近代美術館でのみ実施する割引です。（館内では他の割引と併用できません。）



■ 埼玉県立近代美術館で展示する作品



a



b



c



d



e



f

竹岡雄二

- a. 《オレンジの台座》2000年／個人蔵
- b. 《インターナショナル・アート・マガジン・ラック》1997年／個人蔵
- c. 《カラヴァッジョ》2007年／個人蔵
- d. 《無題》1996年／マンツ・コレクション, シュトゥットガルト
- e. 《芸術情報の頭, ドクメンタIX》1992年／作家蔵
- f. 《七つの台座》2011年

(撮影者／出品先／クレジット)

Photograph(s) by Achim Kukulies, Düsseldorf／埼玉県立近代美術館に出品／© Yuji Takeoka, courtesy of WAKO WORKS OF ART

■ 遠山記念館で展示する作品



g



h



i



j

竹岡雄二

- g. 《ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインのための台座》2015年／作家蔵
- h. 《立っている彫刻 Ⅲ》2008年／個人蔵
- i. 《ブロンズの台座》2012年／作家蔵
- j. 《展見》1988年／個人蔵

(撮影者／出品先／クレジット)

g→ 撮影：椎木静寧（遠山邸東棟で撮影）／遠山記念館に出品／© Yuji Takeoka, courtesy of WAKO WORKS OF ART

h~j→ Photograph(s) by Achim Kukulies, Düsseldorf／遠山記念館に出品／© Yuji Takeoka, courtesy of WAKO WORKS OF ART

- 写真はデータにて提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp（広報担当・落合）まで。
- 写真を掲載する場合、作品名等のデータ、クレジット(上記)を記載してください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようお願いいたします。

**作品データの表記方法** 竹岡雄二《(各作品名)》(制作年) / (所蔵) / (撮影者) / (出品先) / (クレジット)

※撮影者が同一の場合は、撮影者データをまとめて記載可。クレジットはまとめて記載可。

- 掲載誌を1部、広報担当までお送りください。